

修学旅行・校外学習における 2025年大阪・関西万博の活用について

2023年6月

内閣官房国際博覧会推進本部事務局

経済産業省商務・サービスグループ

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

- **2025年（令和7年）4月～10月、大阪・関西万博が開催されます。**5年ごとに世界で開かれる大規模な登録博としては、2005年愛・地球博以来の国内開催です。
- 万博は、社会が直面する課題の解決に向けた最先端の知見や世界の考えを示す機会であり、**子供たちにとっても学びの多い場となるものと考えています。**

< 大阪・関西万博の概要 >

(1) 名称

正式：**2025年日本国際博覧会**

略称：**大阪・関西万博**



(2) テーマ・コンセプト

テーマ：**いのち輝く未来社会のデザイン**

コンセプト：**未来社会の実験場**

(3) 開催場所：**夢洲（大阪市臨海部）**

(4) 開催期間：

2025年4月13日 ～ 10月13日（184日間）

(5) 参加国・機関（2023年3月時点）：

153の国・地域と8の国際機関が参加表明



○この機会に多くの子供たちに万博を体感してもらえよう、**会期中に実施される修学旅行・校外学習の行程への大阪・関西万博の組み込みについて、ご検討をよろしくお願いいたします。**

(3/14付で文部科学省初等中等教育局より、同趣旨の通知を発出しました。)

○(公社)2025年日本国際博覧会協会のHPにおける教育旅行特設ページや、メールマガジンを通じ、学習に資するコンテンツの紹介、入場料金設定や混雑緩和対策等の準備状況に関する情報を、随時発信します。

<博覧会協会 教育旅行ナビ> https://www.expo2025.or.jp/overview/school_trip/

○**万博を題材に、SDGsについて学ぶ「教育プログラム」の展開も進めています**(要事前申し込み、無償)。**修学旅行や校外学習の事前・事後学習に活用**いただけるほか、学校や子供の実態等に
応じて、総合的な学習の時間等でも活用いただけます。博覧会協会において2023年度の参加校を募集中(募集期間5/24～12/27)です。教育旅行と合わせてご検討をお願いいたします。

<https://www.expo2025.or.jp/overview/education/>

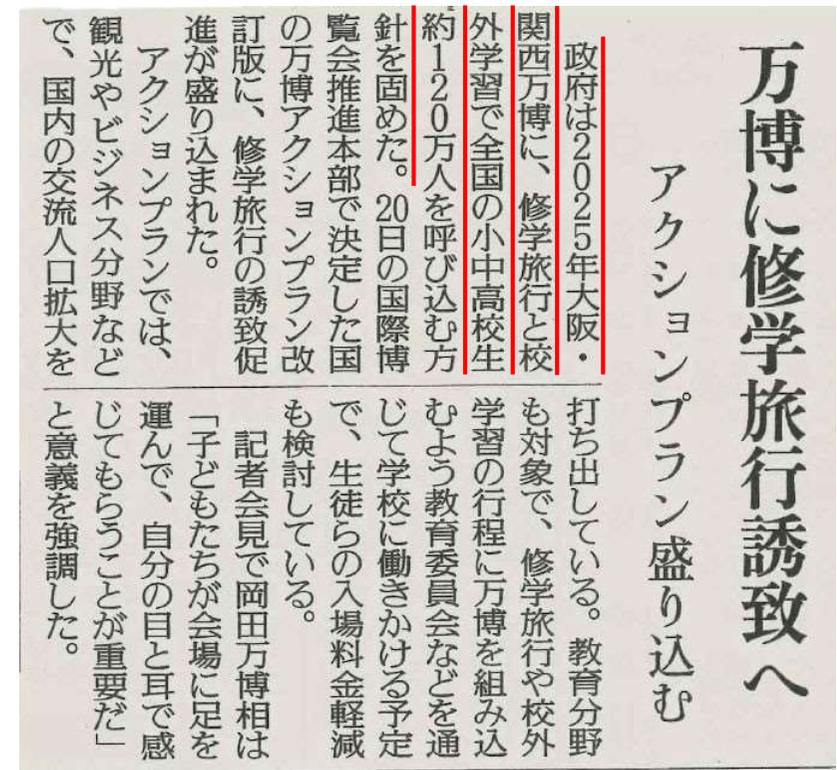


ご意見・ご質問等がございましたら、下記担当までご連絡をお願いいたします。

内閣官房国際博覧会推進本部事務局
<担当> 天野・上田 03-3519-3614 (直通)

<参考> 2022年12月20日 第5回国際博覧会推進本部

- 岡田国際博覧会担当大臣より、修学旅行と校外学習を合わせて120万人の子どもたちに万博会場を訪れてもらうことを目標として表明しました。



(2022年12月21日読売新聞朝刊)

岡田大臣) …特に、教育交流に関しては、私から永岡(文部科学)大臣に直接ご相談させていただき、修学旅行や校外学習で全国120万人の子どもたちが万博会場に訪れる目標を打ち出すこととなりました。引き続き、機運醸成に向けて関係大臣とご相談させていただきたいと存じます。

○世界の「SDGsの取組」と「いのち」を考える参加・体験型プログラムで学習

- ・事前学習として、協会で用意している「教育プログラム」を通じて、万博やSDGsについて学ぶことができます。
- ・会場内では、各国パビリオンや未来社会ショーケース等で世界のSDGs目標達成に向けた先進的な取組みに触れ、テーマパビリオンや企業パビリオン等が提供する「いのち」を考える参加・体験型プログラムにより、万博でしか得られない学びの機会を提供します。

○未来社会を体感、体験

- ・大阪・関西万博は、会場全体が「People's Living Lab（未来社会の実験場）」となります。
- ・「スマートモビリティ」「デジタル」「バーチャル」「アート」「グリーン」「フューチャーライフ」など、空飛ぶクルマをはじめ最先端の技術を駆使し、次世代の技術や社会システムに触れることのできる「未来社会ショーケース事業」を行い、これからの未来を担う学生にここでしか味わえない経験を提供します。

○国際理解・国際感覚の醸成

- ・大阪・関西万博には150の国と25の国際機関が参加する世界最大の国家イベントです。
- ・様々な国の文化・価値観に触れ、会場内で毎日実施されるナショナルデーや国際交流イベントを体験することで、多様性溢れる世界を理解し、感じることのできる最高の機会です。

○本格的なエンターテインメントを楽しめる万博

- ・水上ショー、プロジェクションマッピング、各地の伝統芸能やポップカルチャーなど、活気と感動に溢れた本格的なエンターテインメントを楽しめる万博を創出します。
- ・学びだけでなく、クラスメイトとの一生忘れられないかけがえのない時間を提供します。

世界が一つになってSDGsに取り組み、世界中の一人一人の幸せを考え「いのち輝く未来社会のデザイン」を目指す大阪・関西万博は教育旅行に最適です。万博は世界各国の人々の考え方を知り、国際理解を深める機会になります。

大阪・関西万博 教育プログラム

- 子どもたちが、大阪・関西万博に向けた取り組みに参加しSDGsについて学ぶ「教育プログラム」を2020年度より実施。

◆目的

これからの未来を担う子どもたちが、今から大阪・関西万博に向けた取り組みに参加し、SDGsについて学び、地域や社会の課題について子どもたち自らが発見しながら、それらをどのように解決し、未来を創造するかを考え、大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」のためのアイデアを考えてもらうとともに、2025年には実際に万博会場へ足を運びたいとなるよう興味関心を高めていく。

◆スケジュール

- ・2020年度：大阪府内の小学校及び中学校を対象に実施。
- ・2021年度：対象を関西圏の小学校及び中学校に増やして実施。
- ・2022年度：対象を全国の小学校及び中学校に増やして実施。
- ・2022年10～11月：「リサーチミーティング」（中学校）
SDGsに取り組む企業が自社の取り組み内容を発表し、その取組内容について質疑応答などの交流を実施。東京都、神奈川県、兵庫県、京都府、大阪府等の小中学校（計20校）で開催。
- ・2023年2月：「ジュニアEXPO -プレゼンテーション発表会-」（中学校）
関西SDGsプラットフォームとの共催で実施するイベントでプレゼンテーション発表会を実施。
- ・2023年3月：「ジュニアEXPO -ポスター展示-」（小学校）
授業で作成したアイデアポスターを協会HP等で多くの方に向けて発信。



⇒ **2023年度：2023年5月24日～12月27日〆切 申し込み受付中**

今年度は通常版の教材に加え、3時間程度で学習可能な「短縮版教材」もご用意しております。

大阪・関西万博 教育プログラム

- ポスター作成やプレゼンテーションを通して、自他の考えの交流を繰り返しながら、アイデアを「共創」する経験を積み、これからの未来社会を「共創」する資質・能力を育成することをねらっています。

◆プログラムの流れ

	小学校用	中学校用
授業の流れ	◎万博とは？ 多くの写真や映像教材を用いて楽しく万博を学ぶ。	
	◎「いのち輝く」について 自らの体験など身近なところから考える。	
	◎SDGsとは？ 身の回りだけでなく世界中にも社会課題があることから、「誰一人取り残さない」ための課題解決に向けて様々な企業が取り組んでいることを学ぶ。	
	◎ポスター作成（ジュニアEXPO） （※1）	◎リサーチミーティング（※2） ◎プレゼンテーション発表会 （ジュニアEXPO）（※3）

【授業時数】

小学校：10授業（45分×10時限）
中学校：10授業（50分×10時限）

※2023年度からは3時限程度の「短縮版教材」もご用意しております。
※プログラムは1つの例であり、授業時数等に縛られず、学校や子供の実態等に応じて工夫して実施いただけます。

ポスター作成
（ジュニアEXPO）



プレゼン発表会
（ジュニアEXPO）



- ※1 小学校用の「ポスター作成」は、作成いただいたアイデアポスターの一部を当協会のHP等で広く発信する予定です。
- ※2 リサーチミーティングとは、SDGs達成に向けて取り組まれている企業・団体等とオンライン形式で交流する授業のことです。
- ※3 中学校用の「プレゼンテーション発表会」は、子どもたちが考えたアイデアをプレゼンテーション形式で発表していただく場のことです。（今年度も昨年度に引き続き、関西SDGsプラットフォームとの共催イベント「関西SDGsユース・ミーティング」内で実施予定。）

◆実績

年度	参加校数	中学校	小学校	実施地域	リサーチ ミーティング 協力企業数
2020	14校	5校	9校	大阪府	13社
2021	50校	16校	34校	関西圏 【大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県】	9社
2022	119校	60校	59校	関西圏 【大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、滋賀県】 関西圏以外 【北海道、岩手県、栃木県、茨城県、埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県、山梨県、愛知県、岐阜県、福井県、徳島県、愛媛県、熊本県、大分県】	14社

◆備考

- 参加校について、21年9月、22年6月に、文科省及び経産省の連名で、全国の小中学校への周知のため事務連絡を发出。その結果22年度は全国から100校を超える学校に申込みをいただいた。
- 博覧会協会では、中学生が授業で考えたアイデアを発表・表彰する場として“ジュニアエキスポ”を実施。21年度からは関西SDGsプラットフォームと共催し、関西ユースミーティング内で発表・表彰を実施しており、活動の規模を拡大している。
- 2023年度は、在外教育施設（海外の日本人学校）へ実施エリアを拡大する。また、学校のカリキュラムに応じて取り組めるよう既存の10時間程度の教材に加え、万博とSDGsを3時間程度で学習できる「短縮版教材」を作成した。



◆ 子どもたち・教員を対象にした事前・事後のアンケート調査の実施結果（一部を掲載）

○質問に対して、「できる」と回答した割合

質問	小学生		中学生	
	事前	⇒ 事後	事前	⇒ 事後
大阪・関西万博はどのような万博をめざしているのか説明できる	14%	⇒ 53%	11%	⇒ 52%
SDGsに対して、自分なりの考えを説明できる	54%	⇒ 80%	50%	⇒ 78%
質問	小学校教員		中学校教員	
本プログラムは、児童が、SDGsを自分事としてとらえ、「誰一人取り残さない」という重要な考え方を理解するために有効でしたか	95%		85%	
本プログラムは、児童が、世界や身近な課題を見出し、自分たちなりに何ができるか考える資質・能力の育成に有効でしたか	95%		83%	

○子どもたち・教員の声

生徒の声



周りの意見を聞いてお互いの意見について興味を持って話し合うことが大切だと思います。

まずは私自身が社会に関心を持つことが大切だなと思いました。今回、今まで以上に社会問題に関心を持てたので、次は他の人に興味を持ってもらうための行動を起こしていきたいです。

教員の声



生徒が発表したり、質疑応答したりすることができて主体的に学ぶことができた。

企業とのリサーチミーティングが最も生徒たちの印象に残っていると思う。やはり、人と人との交流が生徒には大きな影響を与えてくれる。